

## 令和3年度 西原町総合教育会議 議事録

日時	令和4年3月25日（金） 13:30～14:45
場所	西原町役場 2階 災害対策室
出席者	崎原 盛秀（町長）、新島 悟（教育長）、宮城 直子（教育長職務代理者）、 呉屋 正則（教育委員）、前田 朋哉（教育委員）、
職務出席者	新垣 和則（教育部長）、喜屋武 尚（教育総務課長）、 上原 すが子（教育総務課係長）
傍聴人	0名
記録者	上原 すが子（教育総務課係長）

### 【議題】

西原町学校施設等長寿命化計画（案）について

### 【会議資料】

西原町学校施設等長寿命化計画（令和4年3月）

### 【開会】

#### （司会）

これより、令和3年度西原町総合教育会議を開催いたします。

本会議の議事進行は、町長が行うと定められておりますが、形式的な司会進行については、事務局の私（教育総務課長喜屋武）で進行を務めさせていただきます。

まず初めに、西原町総合教育会議設置要綱の第1条において、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4の規定により、西原町総合教育会議が設置されております。第2条においては、所掌事務に関することは載っております。第3条で会議は、町長及び教育委員会で構成することが規定されており、構成員の皆様の出席状況につきまして、本日、全員出席であることをご報告致します。また、第8条で議事録を作成し、公表することになっております。会議を録音し、そのまま文書に起こし、西原町ホームページで議事録を公表しております。そのため、個人的な発言、個人名が出る発言等の際には、「休憩」を申し出ていただきたいと思います。

それでは、会議の開会にあたりまして、崎原町長からご挨拶をお願い致します。

### 【町長あいさつ】

皆さん、あらためて「はいさいぐすーよー、ちゅうがなびら」。今回、令和3年度の総合教育会議ということで、去った2月21日にまん延防止等重点措置が解除されておりますが、現在、感染者数は高止まりの状況でまだまだ予断は許さない状況下において、今回会議にご出席していただいたこと厚く御礼を申し上げます。

今回の会議におきましては、学校施設等長寿命化計画の案について議論していただくこととなりますが、西原町ではいろんな施設の老朽化が進んでいるという状況でございまして、その中で今回は学校施設等長寿命化計画の案について議題としていきたいと思っております。ぜひ忌憚のないご意見をいただいて、長寿命化計画にしっかり対応できるよう議論していた

だきたいと思います。よろしくお願いいたします。

**(司 会)**

崎原町長、ありがとうございました。

では、これより総合教育会議へと移りますが、西原町総合教育会議設置要綱第5条において、会議の議事進行は町長が行うと規定されておりますので、崎原町長のほうで進行よろしくお願いいたします。

**(町 長)**

それでは早速ですが、会議に移らせていただきます。ここからは私のほうで進行ということになっておりますので、ご協力お願いします。

まず本日の議題「西原町学校施設等長寿命化計画（案）」について、資料がお配りされておりますが、内容について事務局のほうから説明をお願いします。

**【協 議】**

**(教育総務課長)**

西原町学校施設等長寿命化計画については、勉強会というかたちで事前にご説明しておりますが、今回、3回の検討委員会を終えて、またホームページでパブリックコメントを出しましたが、意見はありませんでしたので、計画案を最終確認し、また町と教育委員の皆さんで情報共有し、一緒になって計画を進めていくということになりますので、最後に内容を確認していきたいと思います。

計画の内容については、外間係長から説明させていただきます。

**(外間係長)**

担当の外間と申します。よろしくお願いいたします。

第1章から第6章までありますので、説明した後にご意見をたまわりたいと思います。

※抜粋しながら読み上げて説明。

**(町 長)**

第1章の説明がありましたが、この中で確認したい点がございましたら、ご意見お願いします。

**(宮城委員)**

質問ですが、園児、小学校中学校の生徒の数は、町立に通っている子の数ですよ。幼稚園は町立だけの人数であり、小学校は私立の幼稚園からも来るので、グラフの推移と連動していないということですか。

**(外間係長)**

そうです。

**(呉屋委員)**

人口は2030年にピークを迎えるということですが、西地区は人口が増える可能性があるわけですよ。このとおりにはいかないと思うが、何年ぐらいを目途として、どれくらい人口が増えるイメージですか。例えば商業施設が主になるのか、住宅地が増えて人口が増えるなどイメージはありますか。

**(町 長)**

西地区の人口ですが、完成すると約1,700名の増となる計画です。しかし、10年程度、

事業はかかりますので、商業用地、住居用地という配分はされています。県道沿いについてはほとんど商業用地で、中のほうに住宅用地、公園がございます。基本は1,700名がはりついてくる予定です。来年の3月、市街化区域が拡大されます。144ヘクタールが編入されます。この市街化の分についても商業用地、住宅用地の配分がありますが、人口が3,000名近く増えるという見込みです。

これまでは、那覇広域といって、中城、北中城、宜野湾、浦添、糸満、ほとんどが那覇広域になります。この中で人口の伸びがいくらあるのか、その人口の配分によって市街化の拡大ができるわけですが、今まではなかなか拡大できなかった状況があります。本来なら、那覇広域の市街化区域の中で住宅をつくるわけですが。これが緩やかになってきております。住宅緩和区域は、集落の部分は市街化に入れられるようになったので、我々も住宅緩和地域を市街化拡大地域として含め、そのことによって人口が増やせる状況が出来ます。来年の3月いっぱい市街化区域にかわってきます。人口の伸びは市街化区域の住宅にはりついてきます。

市街化区域と住宅緩和区域の違いとして、住宅緩和区域は1件の家は建てられるが、共同住宅は建てられなかった。ところが用途を変更するとアパートがつかれるので、人口の拡大につながると思います。その代わり坂田小がマンモス校になる課題が出てきます。その状況をみながら、校区わけするのかどうか、近い将来出てくると思われます。

**(呉屋委員)**

5年後には計画の見直しを行うわけですね。5年後には様子がみえてきて、見直ししながらイメージが作られてくるわけですね。

**(外間係長)**

人口増により4クラス増える予想です。上原地区の人口密度も上乘せすると、6クラスになってくるかと。坂田小校区を人口割した場合ですが。西地区に子育て世帯が急増した場合は、それ以上に増える可能性もあります。

**(町長)**

基本的には10年の計画をたてて、5年で見直しするとより精度が高いものに修正できるかと思えます。

**(宮城委員)**

校区の見直しは微調整であって、西中校区という視点からみると、便宜上は坂田小がいいと思いますが、南小は学級数が少ないので、出来ればその学級数分は坂田小の校区からの移動も考えられますが、西地区の開発で人口が増えてきたとき、大きな見通しとしてはどうでしょうか。

**(町長)**

分離校ということですね。以前、幸地地区に予定していた経緯があり、その頃は1,000名に近い規模が続いておりましたが、今は900名割っているかと思えます。そこからまたどんどん増えていき1,000名近くの状況になった場合、分離校なのか、校区わりで出来るのかどうか、進めながらでないといけないと思います。そこは5年後の見直しの中でどういった状況なのか、みる必要があると思います。

**(呉屋委員)**

南小の在籍数は、今後は伸びる可能性がありますか。今の校区で考えた場合、以前はも

っと増えると思っていたけれども、南小は他の校区からでも大丈夫ということですが。

**(外間係長)**

市街化拡大があるので、増える傾向にあると思います。

**(外間係長)**

第2章に進めさせていただきます。

**※抜粋しながら読み上げて説明。**

次年度、東小学校、東中学校、坂田小学校の体育館の屋根の修繕工事を予定しています。質問等があればよろしくお願いします。

**(前田委員)**

25pの現地調査の調査結果を見ると、危険な状態だと思いましたが、既に対処されているでしょうか。

**(外間係長)**

はい。剥がれなど叩いて落とせるものは落としています。

**(前田委員)**

当面は大丈夫ということですね。

**(呉屋委員)**

21pの耐力度調査結果ですけれども、西原東幼稚園は圧縮強度が20.28とはありますが、実施した年度が平成22年度で、他の学校は平成28年度ですが、平成22年度以降に調査はしないのでしょうか。

**(外間係長)**

東幼稚園は、今年度調査を入れており、補強が必要かどうか確認します。今年度で最新の圧縮強度がわかると思います。ただし、それほど数値は変わらないと思います。

**(呉屋委員)**

建てた年度は、東小学校と東幼稚園はあまり変わらないと思いますが、圧縮強度の数値が変わる大きな要因は何でしょうか。

**(外間係長)**

施工状況にもよります。水セメント比や気温で変わります。

**(外間係長)**

第3章、第4章を説明させていただきます。

**※抜粋しながら読み上げて説明。**

何か質問あればよろしくお願いします。

**(呉屋委員)**

補修工事の周期は。

**(外間係長)**

補修工事の周期は、最初は20年、次に40年のときに大規模改修となります。

**(外間係長)**

第5章を説明させていただきます。

**※抜粋しながら読み上げて説明。**

何か質問はございませんか。

**(前田委員)**

改修が令和4年度と近いですね。

**(外間係長)**

予算を伴うものなので、あくまでも10年間の事業スケジュールですが、国はこのスケジュールがないと補助事業の採択をしません。財政状況にもよりますが、PPPなど民間活用しながら、民間でできるのであればそこも探りながら、改修を入れる時期を検討します。

**(呉屋委員)**

旧耐震でつくられた建物は40年、新しい基準だと80年という考え方でいいわけですね。坂田小学校は改築したので、80年と考えているということですか。

**(外間係長)**

20年目に改修するなどしていけば、80年もつということ。長持ちさせるために、20年ごとにきちんと定期的に改修を入れていくという国の考え方です。

**(外間係長)**

では、第6章を説明させていただきます。

※抜粋しながら読み上げて説明。

**(町長)**

それでは、第1章から第6章まで説明が終わりましたが、何か質問はございませんか。

**(前田委員)**

トイレの洋式化は嬉しいですね。すべての学校が洋式化されますよね。

**(町長)**

なんとか夏休み中に終えようと発注の仕方で職員が苦勞していますが、子どもたちのために頑張っています。長年の課題でしたので、令和3年度の補正予算で東小学校の改修を行ったところ、きれいに使いますと大変喜ばれました。何とか予算が組める状況が出来ましたので、急ぎよ今年、委託設計を入れ、令和4年度に工事となります。

**(呉屋委員)**

この長寿命化計画は、立派に素晴らしく出来ていると思います。

例えば、校舎を改築するときに、国の補助は概算でどれぐらい入るでしょうか。

**(喜屋武課長)**

補助率は3分の1ですが、国が示す建築単価があり、実際はその単価では建てられないので、町から上乘せしているため、持ち出しが多いこととなります。

**(呉屋委員)**

3分の2以上は、町の負担になるわけですね。

**(町長)**

文科省の事業として国の問題になりますが、道路事業の補助率は8割、区画整理事業は9割、一番低いのが公園事業で2分の1ですが、校舎等の補助率は低い状況です。子どもたちのためと考えるのであれば、もっと補助率が高くていいのではという思いはあります。

それで、PFIなど活用して本土では市街化区域の中にある校舎で、企業が参入して校舎の上にマンションをつくるなど、企業がつくる方式もあります。また、役所の施設にもPFIで下は役所、上はマンションという先進事例があります。本来なら市街化区域があ

って合致するのがいいのですが、東小学校が市街化区域に編入できて、商業用地といった高層化できるような地域にあてはまることになれば、そういう活用も出来るのではと検討しています。

P F I は学校だけでなく、図書館や公民館にも民間の事業所を入れて、出来るだけ行政側のコストを抑えて対応できないかとしています。これからはどこの市町村も財政が厳しい状況なので、そこで民間を活用しようという国の方針が出ています。民間活用の方針なので、民間に補助金を流す仕組みになっています。認定こども園についても、行政には補助がないものが、民間になると補助が付きまします。国の政策ですので、民間活用していきたいと思います。

**(宮城委員)**

築年数と優先順位はほぼ一緒ですか。

**(外間係長)**

大体合致します。優先順位としては、築年数もですが、コンクリートの強度が弱いところは優先します。

**(教育長)**

子育て世代については、令和5年度から認定こども園に移行しますので、先延ばしするともっと増えることが予想されますので、早めに坂田小学校の校区再編、もしくは分離校については早急に検討しなければならないと実感しています。

**(町長)**

特に西地区事業の進捗が早まると、その傾向になるかなと思います。一時期は坂田ハイツに一気に若い世代が入ってきて、坂田小がマンモス校になったんですね。ところが、今は逆に高齢化率が高くなってきて、2世代の方に2階に住んでくださいと促しています。

何より区画整理事業は人口増となる要因であり、若い世代が求めてくると一気に増える傾向にありますので、その状況を見ながら参考にします。

以前は幸地地区に第2分校も計画されていましたが、その後は減少となり、分校をつくらなくてすみしました。また、南小学校は少ないため、出来るだけそちらへ促すなど、議会の一般質問でもいろいろな意見は出ていましたが、これから討論する必要があると思います。状況みながら、対応していきたいと思います。

**(呉屋委員)**

53pの今後10年間のスケジュールをみますと、東小と東幼稚園が別々のスケジュールで組まれています。小学校と幼稚園はセットだと考えますし、そのほうが建築コストも安くなるのではと思いますが、わけている理由は何でしょうか。

**(外間係長)**

耐震補強で補助を使った場合は、年数を守って補助金返還にならないようにしています。一緒になる可能性が高いとは思いますが。東小学校の計画時には幼稚園の配置も考えないといけないので、早まる可能性はあります。

**(宮城委員)**

認定こども園の移行があるから、小学校とわけているのかと解釈していました。

**(外間係長)**

認定こども園のこともあります。いろいろな条件があるので、実際の財政上も、この計

画のとおり出来るかわからない点があります。

**(呉屋委員)**

つくるときは同時の可能性が高いわけですね。費用の面や敷地の配置の問題もあるわけですね。

**(外間係長)**

同時並行で考えなければいけないと思います。

**(町 長)**

他にご意見はありませんか。

今回の学校施設等長寿命化計画について、本日の議事は終了させていただきます。

難しい内容だったかと思いますが、ご審議いただきまして有意義な計画になったと思います。

本日は長時間にわたりありがとうございました。

**(司 会)**

崎原町長どうもありがとうございました。

来年度以降、この学校施設等長寿命化計画に沿って整備改修等をすすめていき、この計画を皆さんと共有し、改善すべきところが出てきたらご指摘もいただきながら、子どもたちの安全な学習環境ができるように教育総務課は取り組んでいきます。

**【閉 会】**

**(司 会)**

以上をもちまして、令和3年度 西原町総合教育会議を閉会いたします。

皆さん、本日はお疲れ様でした。